

e-「本」

のちょっと・第1回

ブックソムリエ 石河亮平

今月のテーマ ふる たず 故きを温ねて新しきを知る

4月13日午前5時33分、かなりの揺れで飛び起きた。反射的に枕元のラジオをつける。「緊急地震速報」は「まもなく大きな地震が来る」というが、もう来ていた。震度5、震源は淡路島だ。わが町は震度5弱、余震にそなえ布団を被り再び寝入った。1995年1月17日のM7.2の時のゴーという不気味な地鳴りはなかった。「災害は忘れた頃にやってくる」というが、18年経っての警告か。遅々として進まない原発の安全基準づくりを促すかのような地震だった。過去の体験は新しい知恵を生むために忘れてはならないのだ。

『日本の深層 縄文・蝦夷文化を探る』 梅原猛著 集英社文庫

なぜおすすめか

日本人の魂の原点を探る東北地方の紀行記であり「原日本文化論」伝説的ヒット作品「おしん」の舞台は山形だ。石川啄木、宮沢賢治らの優れた詩人は東北出身である。今から3千年前から2千年前くらいまで、津軽の地は高度な縄文文化が栄えていた。大和朝廷の支配に抗った世界最古の縄文文化を誇る東北に「日本人の隠された魂の秘密」を探る。上質かつ濃厚な内容は一読の価値がある。3・11鎮魂の書。

主な内容を「ほんのちょっと」紹介すると

仙台生まれの著者が東北各地を歩き、今に伝わる郷土の行事と祭り（花笠祭り、ねぶた、竿燈、なまはげ、鬼剣舞、七夕、馬追いなど）や方言、遺跡からでた縄文土器などから日本人の魂の源流に迫る。

アイヌと古代日本人は一つの元であるとの仮説の正しさを人類学、言語学、宗教などから証明する。

北上川の流域には、大和朝廷の前線基地・多賀城、胆沢城などがあり、蝦夷にとって「母なる川」。

平泉・金色堂に併み藤原三代のミイラの謎を解き明かす。平泉文化は蝦夷の文化の遺産と見抜く。

花巻では賢治の詩と童話の足跡を探る。民話と伝説の町・遠野では柳田国男の『遠野物語』の不思議な物語を解き「民俗学」発生地という。盛岡では「啄木の歌は滅びない、永遠の青春の歌」と想ぶ。

津軽を訪ね「ねぶた」の起源は「坂上田村麻呂の蝦夷征伐にある」という。「ねぶた」の由来についてアイヌ語の「ネブタ」=「それはなんじゃ」だと推測するが、結局は「精靈流し」だ。

太宰治『津軽』の舞台から「イタコの本拠地」津軽半島へ。山岳崇拝と仏教の出羽三山で旅を終える。

別章「会津魂の深層」では「会津は縄文文化と弥生文化の出会いの場所、最も個性的な土地」。出土した火焔土器から越の国の影響下にあったと確認できるが、まだ考古学的研究が十分に進んでいない。



ラジオ関西「笠置功の歌の味めぐり」



ラジオ関西の人気番組「笠置功の歌の味めぐり」4月17日に元AV女優の夢乃春香さんがゲスト出演し、お色気むんむんの30分となつた。

元AV女優の夢乃春香さん出演



八尾柏原支社
八尾市八尾木北3-137
電話 (072)993-2037
FAX (072)993-2037

左からMa7koさん、コークヘロさん、夢乃春香さん、笠置功さん
性の問題にも触れた。誰もが手をこまねいてしまった。話を弾んだ。最後には障害者と

アダルトビデオを作っていると聞き、バーは驚き、次々と質問をぶつけ、話が弾んだ。最後には障害者と

アダルトビデオを作ることも聞いた。誰もが手をこまねいてしまった。話を弾んだ。最後には障害者と

アダルトビデオを作ることも聞いた。誰もが手をこまねいてしまった。話を弾んだ。最後には障害者と